

授業の概要

部分床義歯の構成要素である支台装置のうちの線鉤および連結装置であるリングバーについて、設計の基本と製作法の注意点を学ぶ。

- 教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学(医歯薬出版)
- 参考資料：プリント配付
- 授業時間：木曜日 18:00～21:15 18:50～21:15
- オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 木曜日 17:00～17:45
- 成績評価：実習製作物を評価(100%)し、フィードバックを行う。
- 注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。
- 授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。
- 準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。
- 準備学習時間：必要な時間(1時間程度)を充てて予習を行うこと。
- 実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第1回9月5日 市川 裕美 山本 哲也	1. 2腕鉤(1線法)の製作 1) 鉤腕の屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。 ・ 1線法における鉤腕の屈曲方法を理解し、相違点を理解する。 ・ 鑄造レストのワックスアップから埋没、鑄造、研磨までの技工操作を理解する。 ・ 1線法における鉤腕の屈曲方法を理解し、各種2腕鉤との相違点を修得する。
第2回9月12日 市川 裕美 他	1. 2腕鉤(1線法)の製作 1) 鉤腕の屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。 ・ 1線法における鉤腕の屈曲方法を学び、相違点を理解する。 ・ 鑄造レストのワックスアップから埋没、鑄造、研磨までの技工操作を理解する。 ・ 1線法における鉤腕の屈曲方法を理解し、各種2腕鉤との相違点を修得する。
第3回9月19日 市川 裕美 他	1. 2腕鉤(1線法)の製作 1) 鉤腕の屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を修得する。 ・ 1線法における鉤腕の屈曲方法を理解し、相違点を理解する。 ・ 鑄造レストのワックスアップから埋没、

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
		鑄造，研磨までの技工操作を理解する。 ・ 1線法における鉤腕の屈曲方法を理解し，各種2腕鉤との相違点を修得する。
第4回9月26日 市川 裕美 他	1. 2腕鉤(1線法)の製作 2) 鑄造レストのワックスアップ・鑄造 3) 研磨	・ 鑄造レストのワックスアップから埋没，鑄造，研磨までの技工操作を修得する。
第5回10月3日 市川 裕美 他	2. 屈曲リングルバーの製作 1) リングルバーの屈曲 2) 保持形態の付与・研磨	・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを理解する。 ・ 義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解する。 ・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを修得する。
第6回10月17日 市川 裕美 他	2. 屈曲リングルバーの製作 1) リングルバーの屈曲 2) 保持形態の付与・研磨	・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを理解する。 ・ 義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解する。 ・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを修得する。
第7回10月24日 市川 裕美 他	2. 屈曲リングルバーの製作 1) リングルバーの屈曲 2) 保持形態の付与・研磨	・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを修得する。 ・ 義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解する。
第8回10月31日 市川 裕美 他	2. 屈曲リングルバーの製作 1) リングルバーの屈曲 2) 保持形態の付与・研磨	・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを修得する。 ・ 義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解する。
第9回11月7日 市川 裕美 他	2. 屈曲リングルバーの製作 1) リングルバーの屈曲 2) 保持形態の付与・研磨	・ 連結装置としてのリングルバーについて，基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを修得する。 ・ 義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解する。 ・ 実習製作物を作業模型に装着し，提出して評価を受ける。

授業日・担当者	実習項目	学修到達目標
第10回 11月14日 市川 裕美 他	3. コンビネーション クラスプ 1) 線屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頬側線鉤，舌側鑄造鉤のコンビネーションクラスプの製作方法を修得する。 ・ 頬側 1.0mm線の屈曲方法を修得する。 ・ 舌側鑄造鉤の製作方法を修得する。
第11回 11月21日 市川 裕美 他	3. コンビネーション クラスプ 1) 線屈曲 2) 鑄造鉤製作	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頬側線鉤，舌側鑄造鉤のコンビネーションクラスプの製作方法を修得する。 ・ 頬側 1.0mm線の屈曲方法を修得する。 ・ 舌側鑄造鉤の製作方法を修得する。
第12回 11月28日 市川 裕美 他	3. コンビネーション クラスプ 1) 線屈曲 2) 鑄造鉤製作 3) 埋没 4) 鑄造	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頬側線鉤，舌側鑄造鉤のコンビネーションクラスプの製作方法を修得する。 ・ 頬側 1.0mm線の屈曲方法を修得する。 ・ 舌側鑄造鉤の製作方法を修得する。
第13回 12月5日 市川 裕美 他	3. コンビネーション クラスプ 4) 鑄造 5) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頬側線鉤，舌側鑄造鉤のコンビネーションクラスプの製作方法を修得する。 ・ 頬側 1.0mm線の屈曲方法を修得する。 ・ 舌側鑄造鉤の製作方法を修得する。
第14回 12月12日 市川 裕美 他	3. コンビネーション クラスプ 4) 鑄造 5) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 頬側線鉤，舌側鑄造鉤のコンビネーションクラスプの製作方法を修得する。 ・ 頬側 1.0mm線の屈曲方法を修得する。 ・ 舌側鑄造鉤の製作方法を修得する。
第15回 12月19日 市川 裕美 他	4. 線鉤屈曲1線法 5. 臨床的模型実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1線法の屈曲について，制限時間内における技術能力を修得する。 ・ 付属歯科病院と連携し教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作する。
第16回 12月26日 市川 裕美 他	4. 線鉤屈曲1線法 5. 臨床的模型実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1線法の屈曲について，制限時間内における技術能力を修得する。 ・ 付属歯科病院と連携し教育上有用と考えられる模型において補綴装置等を製作する。